

# さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第226号

令和8年7月1日  
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会  
会長 山口 智

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1  
第2大矢部ビル 2F東  
TEL 048-645-0416  
HPアドレス <https://saitama-harikyuu.com>  
事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp  
(広報委員長) 阿部 琴美  
(編集委員長) 大谷 尚子  
(編集委員) 岩倉 史

## 行事予定表

7月  
5日(日) 令和8年度第1回療養費等適正運用研修会  
16日(木) オンラインサロンー彩ー(臨床研)  
19日(日) 呉竹祭ボランティア  
26日(日) 療養費等適正運用個別指導会  
厚生労働大臣免許保有証申請の事務手続き受付日  
8月  
20日(木) オンラインサロンー彩ー(臨床研)  
30日(日) 療養費等適正運用個別指導会  
厚生労働大臣免許保有証申請の事務手続き受付日

## 埼玉県鍼灸師会の活動

### オンラインサロンー彩ーの開催報告

第52回オンラインサロン彩は4月16日(木)午後9時から開催され、「『書く』から『活かす』へ 鍼灸院の資産を最大化するデータ活用」のテーマでセイリン株式会社国内営業部 山本悠介様にお話しいただきました。



カルテから得られたデータを基に次の来院と信頼を生む資産として活かす事などをご提案いただきました。

### 令和8年度 第1回学術講習会の開催報告

令和8年度第1回学術講習会が5月24日(日)午後3時15分からレイボックで開催され、「支持緩和医療と鍼灸療法の連携のために」のテーマで深谷赤十字病院 支持緩和医療科部長 浦川雅己先生にご講演いただきました。

「緩和ケアとは」「チーム医療の必要性」「海外では支持緩和医療に鍼灸が用いられているが、日本ではあまり利用されていない」「患者様の苦痛を少しでも軽くすることが余命の延長にもつながる」等、支持緩和医療の基礎からお話しいただきました。



## 令和8年度 第1回療養費等適正運用研修会のお知らせ

令和8年度第1回療養費等適正運用研修会を下記の通り開催致します。

お配りしてあります年間行事予定と日程が変更となりましたので、下記日時をご確認くださいようお願いいたします。

また、研修会当日は「保険取扱い要覧」をご用意いたしますようお願いいたします。

会員に限らず、実務担当の方が代理で参加することもできます。ぜひ多くの方の出席をお願いいたします。

日時:7月5日(日) 10:15~(10:00開場)  
場所:レイボックホール(市民会館おおみや)6F 集会室1  
(さいたま市大宮区大門町2-118 TEL:048-641-6131)

内容:令和7年度取扱い実績  
・料金改定に関して  
・書類記入上の注意



## 「オンラインサロンー彩ー」開催のお知らせ

都合によりお配りしております年間行事予定と日程が変更となります。お間違いないよう日程のご確認をよろしくお願いいたします。鍼灸の情報交換や技術・知識の研鑽を目的とした「オンラインサロンー彩ー」は研修会・講習会・臨床研究会を開催しております。臨床研究会の参加方法はzoomによるリアルタイムの参加とFacebook上におけるアーカイブでの受講が可能です。リアルタイムでご参加いただくと講師の先生に直接質問することができます。さらに、東洋療法研修試験財団生涯研修制度2ポイントが取得できます

オンラインサロンー彩ーの予定

日時:7月16日(木)21:00~  
テーマ:「がんの化学療法の副作用の病態と鍼灸治療に期待すること(仮)」  
講師:深谷赤十字病院 緩和支援医療科 部長 浦川雅己先生

日時:8月20日(木)21:00~  
テーマ:スポーツ鍼灸「ねりんピックケアスタッフとして必要な安全性の基礎知識」  
講師:東京呉竹医療専門学校 東洋医学臨床研究所 副所長 上原明仁 先生

参加費:●埼玉県鍼灸師会会員及び育成生…無料  
●一般学生…500円  
●一般鍼灸師…1,500円

参加方法:QRコードからご登録ください。

お問い合わせ先:saishinkaihari9@gmail.com



## 大宮呉竹医療専門学校学園祭のお知らせ ～鍼灸体験ブース設置～

大宮呉竹医療専門学校の学園祭「呉竹祭」が開催されます。当会では鍼灸体験ブースを設け、参加協力しております。学生の企画として飲食の販売や様々なイベントも開催しています。一般の方の来場も可能ですので、是非足をお運びください。

日時:7月19日(日)  
会場:大宮呉竹医療専門学校(さいたま市大宮区桜木町1丁目185-1)

## 病気について学ぼう

### この夏に特に注意したい健康上のポイント

埼玉県周辺では例年、7~8月に熱中症、食中毒、手足口病、ヘルパンギーナの患者が増える傾向があります。特に高齢者は熱中症の重症化リスクが高いため、暑さ対策を早めに始めることが大切です。今年の夏も厳しい暑さになりそうです。この季節に特に気を付けたいポイントは次の通りです。

- ① 熱中症  
最も注意が必要です。のどが渇く前に水分補給、汗をかいたら塩分も補給、室内でもエアコンを適切に使用、高齢者は暑さを感じにくいので特に注意してください。  
症状:めまい、頭痛、吐き気、だるさ、意識がぼんやりする。
- ② 食中毒  
気温と湿度の上昇で細菌が増えやすくなります。  
食中毒の予防として調理前後の手洗い、食品は十分加熱する、作り

置きは早めに冷蔵、お弁当は保冷剤を活用しましょう。

- ③ 夏風邪  
エアコンによる冷えや疲労で免疫力が低下します。  
代表的な病気:咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ。また、今年のはしも流行しています。  
手洗いや十分な睡眠が予防になります。
- ④ 脱水症  
熱中症になる前の段階です。  
尿の色が濃い、口が乾く、体重が急に減る。こうしたサインがあれば水分補給を増やしましょう。
- ⑤ 蚊・ダニによる感染症  
屋外活動が増える季節です。  
虫よけを使用、草むらでは長袖・長ズボン、帰宅後はダニの付着を確認しましょう。
- ⑥ 睡眠不足  
熱帯夜による睡眠不足は体力低下につながります。寝室は26~28℃程度を目安に調整。就寝前の飲酒やカフェインを控える、朝日を浴びて体内時計を整えるなどで睡眠環境を整えましょう。

## 旬の食べ物を食べて元気になるう!

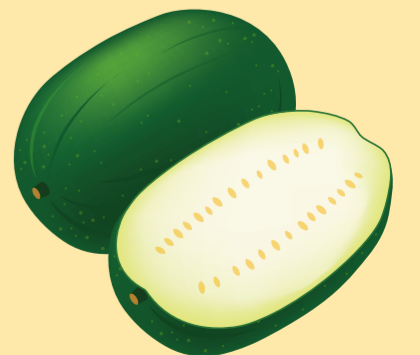
夏野菜でありながら「冬」の字が使われる冬瓜(とうがん)。その名は、皮が厚く保存性が高いため、冬まで持つことに由来するといわれています。日本には古くから伝わり、暑さの厳しい夏を乗り切るための食材として親しまれてきました。

主な産地は愛知県や千葉県、沖縄県など。7月から8月にかけて旬を迎え、みずみずしく淡泊な味わいが特徴です。クセが少ないため、煮物やスープ、あんかけなど、さまざまな料理に使いやすい野菜です。

栄養面では、約95%が水分で、体にこもった熱を冷まし、余分な水分を排出する働きがあるとされています。カリウムを多く含み、むくみの解消や夏場の体調管理にも役立ちます。食欲が落ちやすい時期でも、胃腸に負担をかけにくいのが嬉しい点です。

東洋医学の食養生では、夏は「暑邪」によって体の熱や水分バランスが乱れやすい季節と考えられています。冬瓜は体を冷まし、巡りを整える性質を持つとされ、夏バテやほてり対策に適した食材です。ただし冷やしすぎを防ぐため、生姜やだしと合わせて調理するのがおすすめです。

強い日差しが続く夏。冬瓜を上手に取り入れ、体の内側から涼を感じる食養生を心がけてみてはいかがでしょうか。



協賛各社  
(順不同)

セイリン株式会社・株式会社医道の日本社



・ホシノ医療器株式会社



・ヨシダ商事



・株式会社メイプル名古屋



・株式会社ファロス



アフラック募集代理店 株式会社むらた・株式会社山正



・日進医療器株式会社

